





# 悪魔との 命懸けの 最終決戦へ。

## INTRODUCTION

大ヒットコミック「ACMA:GAME」(講談社「週刊少年マガジン」所載)。

連載時から圧倒的人気を博した究極の“頭脳×心理”バトルを、  
VFXを駆使した圧倒的世界観で描き出す実写化プロジェクトが始動し  
日本テレビ系日曜ドラマ枠で連ドラ規模を超えた  
巨大スケールドラマとして放送された。

この世のすべてを手にする事ができる99本の“悪魔の鍵”を賭け、  
人間が悪魔の能力を駆使して戦う究極のデスゲーム。  
スリリングな頭脳バトル、目が離せない予測不能な展開、  
魅力的なキャラクター達が繰り広げる人間ドラマが大きく話題となった。  
その「ACMA:GAME」プロジェクトの集大成となる映画化が遂に発表。

映画では、“最後の鍵”をめぐる最終決戦が描かれる。

主人公・織田照朝を演じるのは、

「変な家」「東京リベンジャーズ」の間宮祥太郎。

照朝の親友でありライバルの齊藤初を田中樹、

照朝の幼馴染である眞鍋悠季を古川琴音、

天才ギャンブラーの上杉潜夜を竜星涼が演じる。

究極の頭脳戦×極限の心理戦×白熱の能力バトルは、  
更なるスケールアップを遂げて巨大スクリーンに登場!

人間を翻弄する悪魔の遊びを劇場で楽しみ!

## STORY

謎の組織グングニルに父を殺された照朝は、

99本の“悪魔の鍵”を全て破壊するため、

父の残した言葉を手掛かりに鍵集めの旅を続けていた。

鍵を求める照朝の前に現れる新たな敵は、

宗教団体を運営し、妹は人の心を読む力があるという謎の兄妹。

そして99本目の鍵を持つ、父の仇・崩心。

照朝は、親友の初と悠季、仲間となった潜夜と紫とともに、

新たなACMA:GAMEに臨む。

5文字で好きな能力を決め、相手の的を射る「五字戦闘(ファイブスベルサバイバル)」。

爆発物を積んだ車で時速128キロで競争する

絶体絶命の「落下真偽心眼(ダウトゥルーオアフォールス)」。

そして、「悪魔の鍵」発祥の地である古代遺跡の最深部を舞台にした、

人間が実際の駒となるサバイバルゲーム

「冥王剣闘士(ザ・グラディエーター)」は、

人類の存亡をかけた最終決戦へと発展する。

仲間達全員の命を懸けた、超極限のデスゲーム!

悪魔との命懸けの最終決戦がはじまる。